

日本の高齢者比率は世界1位であるが、タイの60歳以上の高齢者割合は1980年の3・7%から2005年には7・7%、2015年には10・5%に上がり、日本を凌ぐスピードで高齢化を迎えている。タイの高齢化は経済発展を遂げる前に進んでいるため、高齢者の貧困や介護問題が深刻になりつつある。

日本では、2000年に介護保険法が施行され、家族介護から社会全体で介護をしていく方向に転換した。一方、タイの社会保険は、15歳以上60歳未満の民間被用者を強制加入とし、農民や自営業者は任意加入である。年金は、公務員や軍人、民間被用者を対象とする老齢給付、企業年金などがあるが、農民や自営業者、無業者への公的年金制度はなく、年齢に応じて老齢福祉手当が支給されている。また、公的な介護保険のしくみは存在せず、高齢者は十分な介護を受けることが困難な状態である。

また、タイの医療保障制度は、公務員に対する医療給付、民間企業の被用者が加入する社会保険制度による医療給付、そして農民や自営業者を対象とした国民医療保障があり、すべての国民が公的医療保障の対象となっている。とりわけ国民医療保障は30パーツ医療で知られているが、現在では自己負担はなく、無料で受診することができる。その一方で受診する場合は居住地に応じて決められた指定病院にいかねばならない。受診しても受付に早朝から並び、実際に受診できるのは夕方ごろで医師の診断は1分程度であり、高額医療は適用外となるため、

それだけでは十分な医療を受けることは難しい。

このようにタイでは、医療制度や介護保障制度が十分に整わない状況である。その一方で、家族やコミュニティのつながりが根強く残っている。

「介護ボランティアを養成するホーム・ケアプロジェクト」

今回、チェンマイを拠点にタイ北部で

タイにおける介護ボランティアの活躍

香川大学医学部看護学科
辻 京子

東京女子大学現代教養学部国際社会学科

上野加代子

香川大学医学部看護学科

大西美智恵

高齢者の健康づくりや介護支援などを行っているNGO「高齢者発展財団（FOPDEV: Foundation for Older Person's Development）」を訪ね、高齢者のケアを担うボランティア事業である「ホーム・ケアプロジェクト」について聞き取りを行なった。

ホーム・ケアプロジェクトは、高齢者への日常的な生活支援に関する18時間のトレーニングを行ない、ボランティアス

タッフを養成するものだ。2005年からASEAN（東南アジア諸国連合）の10か国で実施され、現在タイではFOPDEVがチェンマイの農村地域を中心に展開している。ボランティアスタッフの多くは、子育てを終えた人や親を看取った人たちである。

トレーニングを受講したボランティアスタッフは、自らが生活する地域の高齢者を週1回程度訪問し、日常的な生活援助や基本的な身体的ケアを提供している。ボランティア活動は無償であり、伝統的な社会的つながりにより、地域の互助機能を活用したものといえる。

専門職の支援を受けながらボランティアスタッフが地域を巡回

FOPDEVのスタッフの案内で、脳梗塞を患い要介護状態になった80歳代の女性を訪ねた。

女性は2年前から寝たきりの状態になり、娘が介護をしている。彼女は2〜3時間ごとに体位変換をされていたが、踵部や腸骨部、膝関節部位に発赤があり、手指の拘縮もみられた。ホーム・ケアプロジェクトのボランティアスタッフは、女性の娘に日常的な様子を聞き取り、FOPDEVの介護士や看護師と連絡を取り合い、褥瘡や拘縮の進行防止に取り組んでいた。

タイでは娘が介護の主な担い手になる慣習があるが、家庭状況によって家族の介護を受けられない場合も増えている。ボランティアスタッフが地域の高齢者を



①在宅療養者のバイタルを測定するFOPDEVの看護師、ボランティアスタッフに助言をしている。②ホーム・ケアプロジェクトで育成されたボランティアスタッフのミーティング。③筆者の辻と大西がボランティアスタッフと本人・家族に拘縮予防を助言している。

巡回し、ケアを提供するホーム・ケアプロジェクトは、タイが仏教国であり、「功德を積む」という教えがあることが背景にあるのかもしれない。

*

日本では、2007年には地方自治体の事例として高齢者の有償ボランティア登録制度（介護支援ボランティア制度）が導入された。高齢化社会を乗り切る地域づくりのためには、ボランティアの組織化という点で、タイのホーム・ケアプロジェクトの試みから学ぶこともあるのではないだろうか。

文献

*1 内閣府：平成28年版高齢社会白書、

<http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2016/html/zenbun/index.html>

*2 厚生労働省：第5章 東南アジア地域にみる厚生労働施策の概要と最近の動向、第6節

タイ王国（2）社会保障施策 2017年海外情勢報告、451-466。

<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kaigai/18/dl/5-12.pdf>

（2018年4月13日アクセス）